

11月16日

庄原市議会主催

「市民と語る会」が  
開催されました

これまでは「議会報告会」として、議会審議や視察の様子など議員活動の報告を行う場として開催されていましたが、今年度からは議員と住民がトークテーマを中心に自由な意見交換を行う場に改められました。市議会からは桂藤議員・横路議員・徳永議員・国利議員・松本議員の5名、当地域からは井上会長はじめ15名が参加。

今回は「地域交通について」をテーマに。まず、現在の地域交通、特に市民タクシーの利用状況を井上会長から説明してもらいました。この市民タクシー制度、市の補助を受け振興区が運営を行っていますが、制度が適用できる地区が森4・5・6組に限られ、利用登録者数も少なく、実際利用している方はごく僅かな現状です。

参加者からは「制度適用の条件（バス路線から1キロ以上離れている地域のみ）が厳しい。距離を縮めては」「バスがカウで走っていることが多い。運行時間や路線を見直しては」「学生が通学でバスを利用しているのでそこも考えてほしい」「バスの空きスペースを野菜出荷に使えないか」など様々な意見、要望が出されました。

議員からは「他の地域でも似たような意見をよく聞く」「備北交通も、このままではいけないと問題意識を持っている」「MaaS（マース）という新しい交通手段の模索も始まっている」「市民タクシー制度も、より使い便利の良い制度に見直す時期に来ていると感じる」といった意見がありました。



お互い意見を出し合い、様々な課題が見えてきました。終盤、議員からは「いただいた意見を持ち帰り、議会の中でも十分議論し、今後の議会活動につなげていく」との言葉がありました。出された意見が議会や市政にどう反映されていくか、今後の動向にも注目が必要です。

このほか参加者からは「市道の草刈、除雪などをもっとしっかり！」「農災復旧の工事対応が遅すぎる」「鳥獣被害がひどい。対策予算を充実してほしい」といった意見・要望もありました。

1時間あまりの短い時間ではありましたが、参加者がお互い意見を出し合い、課題解決に向けて取り組む場として良い機会であったように思いました。

地域課題はまだまだまだたくさん残っています。活発な議論を経てひとつ又ひとつより良い方向へ導けるよう、来年はもっと多くの方のご参加があることを期待しています。

## 「女性大学」視察研修

女性大学（佐藤富美子代表）では、11月11日に総勢16名で廿日市市吉和のウッドワン美術館「江戸の遊び絵づくし展 他」と安芸太田町の三段峡に行かれました。

途中、芸備線 備後落合から庄原間はJRを利用して移動しました。美術館では浮世絵師の遊び心満点の謎解き、隠し絵、文字絵などの作品に感性が刺激され、楽しめる作品も多かったです。中でも猫の集合体のドクロ模様には、時代を経ても斬新さを感じさせるものがありました。三段峡では、三段滝へ初めて行かれる方もおられ、1時間という時間制限がある中の片道徒歩30分には参りました。紅葉の景色を楽しむ余裕もなく、途中で心が折れそうにもなりましたが、到着し、三段滝を見られて本当に良かったです。瀑声と力強い水飛沫に感動しました。絶景は秘めた場所・険しい場所にある場合がありますが、苦しい思いをした先の感動があるから、苦しくても行ってみたいと、人は絶景に魅了されるのでしょうか。



## 注連縄を作ませんか

今年は古代米の苗をいただいて、春の田植えから刈り取りそして乾燥しました。暮れに注連縄作りをする計画で作業を行ってききましたが、ようやく藁が出来上がりました。穂が出る前に刈り取った青いままの藁です。

注連縄を作ってみようと思われる方は振興センターへお問い合わせください。たくさん注連縄を作りたい方は、藁に限りがありますので参加人数によって調整させていただきます。ウラジロは家久治さんにいただきます。

日時 12月13日（月曜日）13時30分～

場所 八幡自治振興センター

講師 森5組 川上 勉さん



出来上がった藁

## ご厚志のお知らせ

奥田 大輔 様から 香典返しとして 八幡自治振興区菅受原支部へ 金一封

誠にありがとうございました。

## 編集後記

この時期は、大根・白菜の収穫そして漬物造りの季節です。美味しいお漬物でお正月を迎えましょう。



今日の一句： おつけもの 思い出します 母の手を

